

「就職活動に関する意識調査」 分析結果報告

2013年3月30日

報告の流れ

1. 調査実施の背景・目的

2. 調査概要

3. 調査結果

①働き方への意識

②就職活動に対する不安

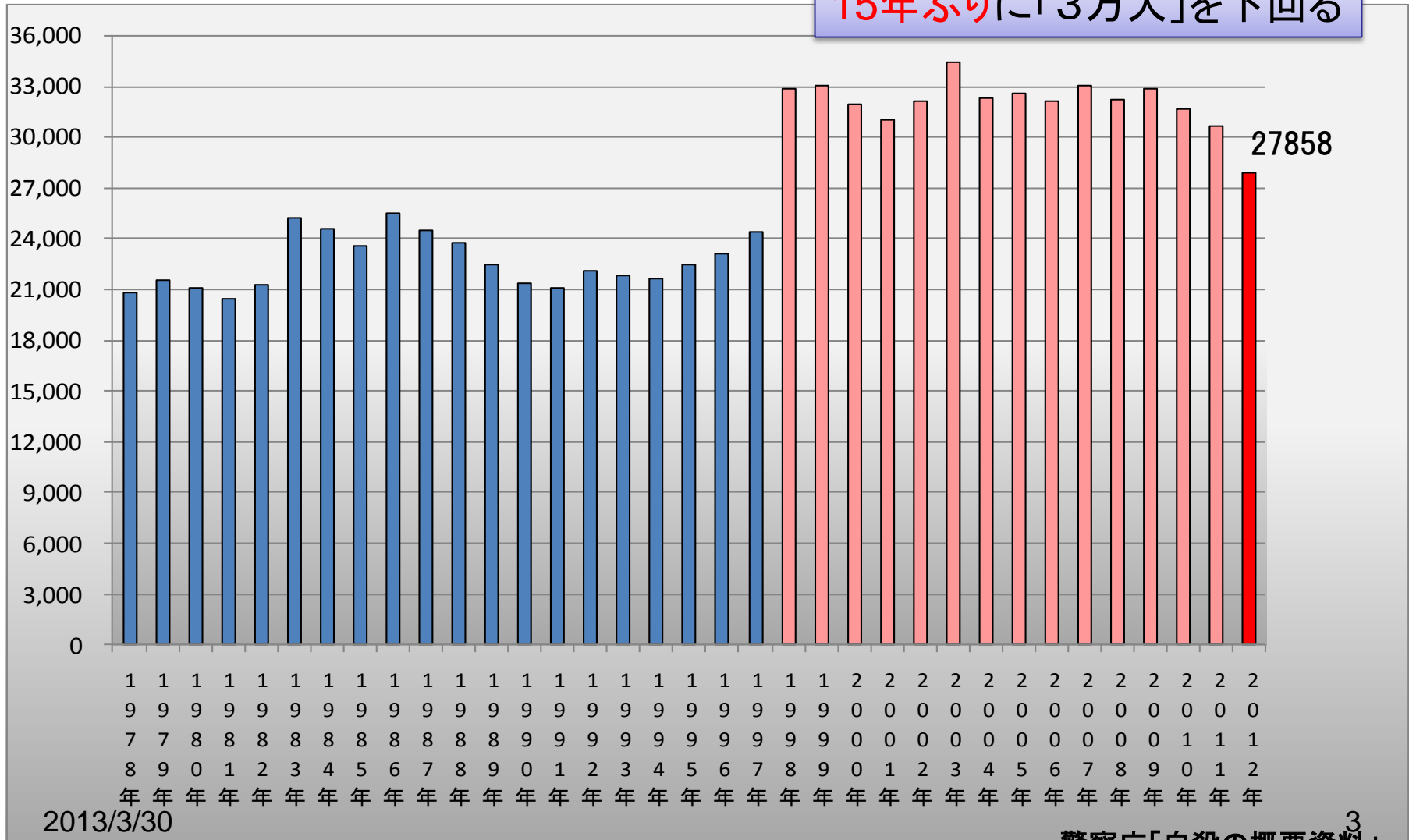
③就職活動に関する諸問題

④社会に対する考え方

4. おわりに

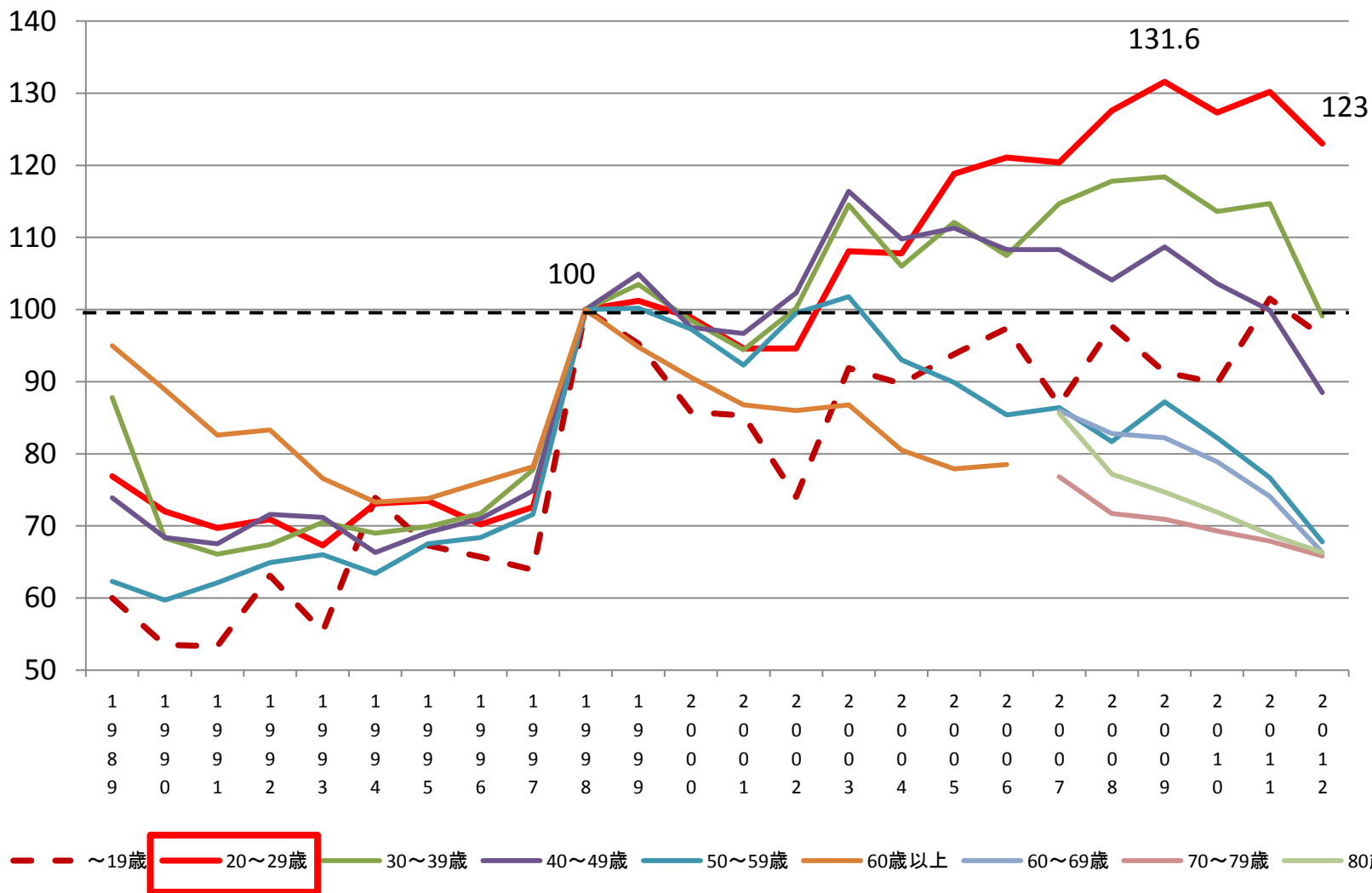
1. 調査実施の背景・目的

15年ぶりに「3万人」を下回る



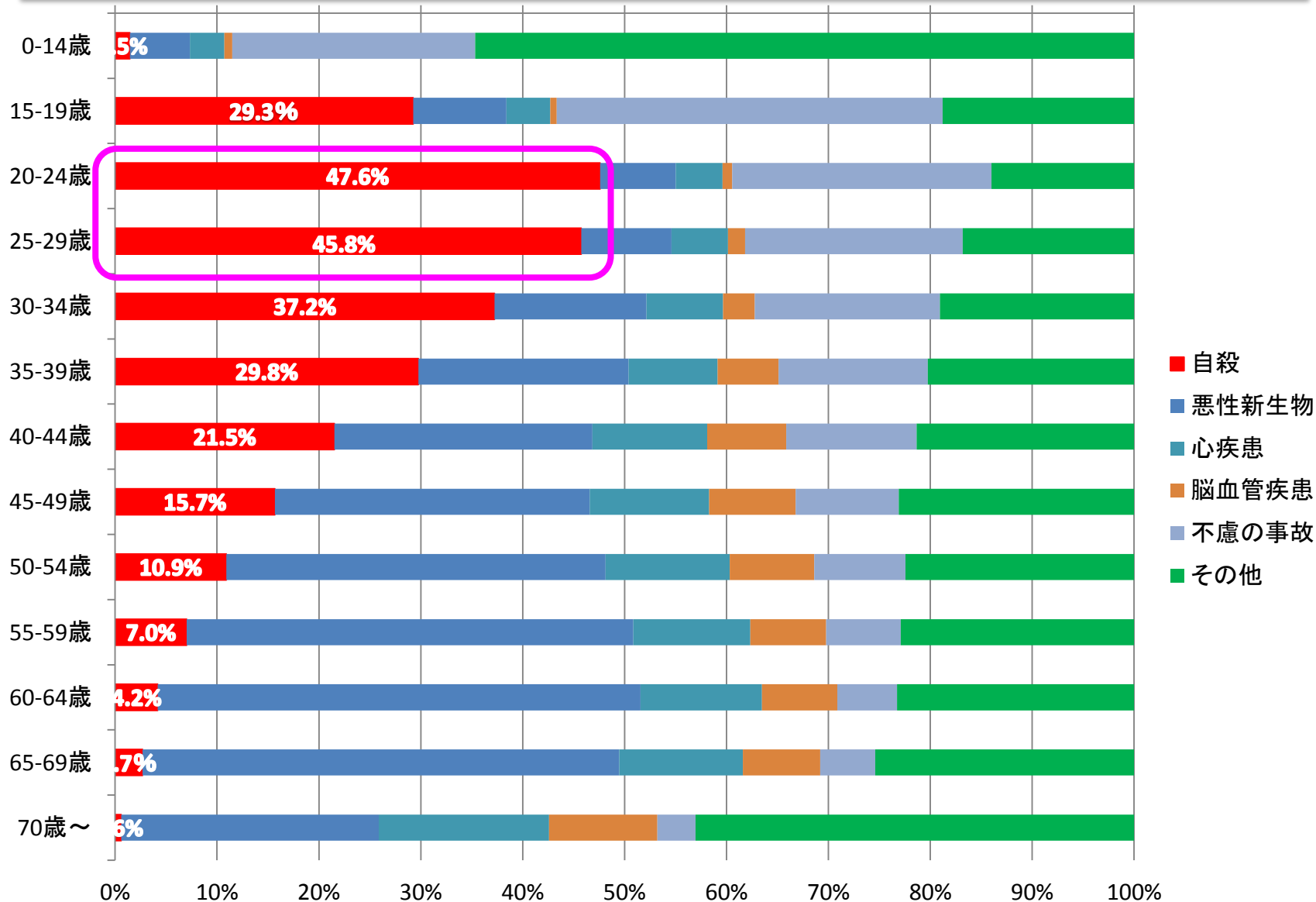
2013/3/30

1998年の値を100とした年齢階級別の自殺死亡率の推移

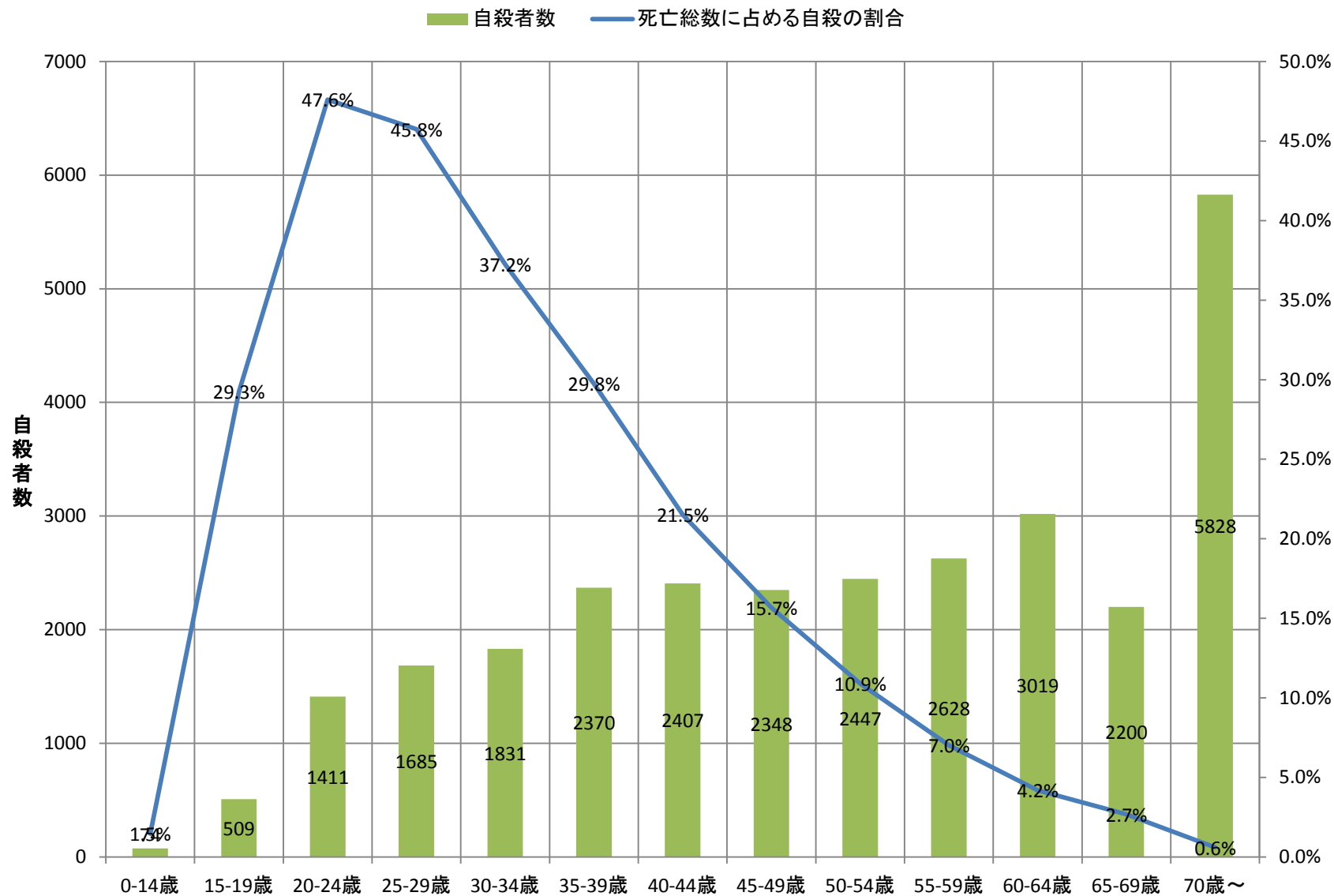


出典：「平成24年版自殺対策白書」に2012年の値を追加（ライフリンク作成）

年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成23年）



年齢階級別にみた自殺者数ならびに自殺の割合（平成23年）



「就職失敗」が原因・動機となっていた
20代の自殺者数

	20代		
	総数	男性	女性
平成19年	60	51	9
平成20年	86	69	17
平成21年	122	98	24
平成22年	153	138	15
平成23年	141	119	22
平成24年	149	130	19

「就職失敗」が原因・動機となっていた
「学生・生徒等」の自殺者数

	総数	男性	女性
平成19年	16	16	0
平成20年	27	21	6
平成21年	33	26	7
平成22年	53	46	7
平成23年	52	43	9
平成24年	54	50	4

出典:「自殺の概要資料」(警察庁/内閣府)

- 「就活失敗」を原因とする20代の自殺者数:
 昨年は141人→149人となり、前年比で5.4%増
- 警察庁により自殺の原因が公表され始めた5年前(平成19年:60人)と比較すると、「20代」では2.5倍、「学生・生徒等」では3倍以上に

【調査の目的】

- 「就職失敗」が原因・動機とされる20代、学生・生徒等の自殺者が増加している背景にあるものは何か。その一端を、就活や働き方、社会に対する価値観／意識についての調査をもとに探る。
- 生きづらさ、生きにくさ、就活に対する馴染めなさを感ずる学生の声を少しでも汲み取り、発信する。
- 就活に関わる諸問題を提起する。

2.調査概要

【実施主体】

NPO法人 自殺対策支援センターライフリンクが、有志の大学生及び大学院生とプロジェクトチームを結成。平成24年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業として実施。

【実施期間】

2013年3月

【調査方法】

対象者に調査の趣旨等を個別に説明。回答してもらった調査票は、郵送もしくはメールで返信してもらった。

【調査対象者】

		計	男性	女性
学部	3年生	93	38	55
	4年生	7	4	3
	5年生	4	3	1
修士	1年生	14	8	6
	2年生	1	1	0
専門学校	1年生	2	0	2
2013/3/30		121	54	67

プレエントリー 平均:59.2社
最大:250社

本エントリー 平均:21.7社
最大:150社

【調査票の構造 全50問(331項目)】

- i. 属性等に関するもの(1、42～50)
- ii. 就職活動に関するもの(2～19)
- iii. 働き方に関するもの(20～24)
- iv. 社会や暮らしに関するもの(25～29)
- v. 幸福度など、価値観に関するもの(30～36)
- vi. 希死念慮等に関するもの(37～41)

【分析方法】

- i. 全項目についての単純集計
- ii. 関連項目のクロス集計
- iii. 集計結果を踏まえた考察

【報道の注意点】

WHO「自殺報道ガイドライン」に反する形での報道(センセーショナルに報じるなど)は、若者の自殺の誘因になりかねないので、くれぐれもご注意を。(別紙参照)

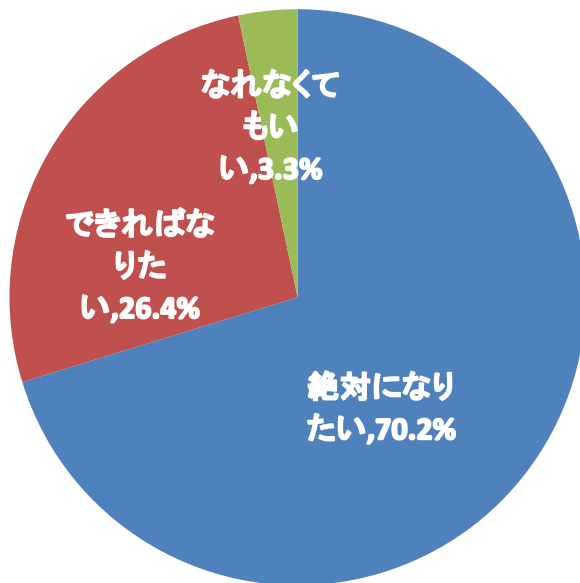
3.調査結果

①働き方への意識

雇用形態への希望

正社員（正規の職員）になりたい学生：**96.7%**と圧倒的多数
（「絶対になりたい70.2%」+「できればなりたいたい26.4%」）

正社員（正規の職員）の希望

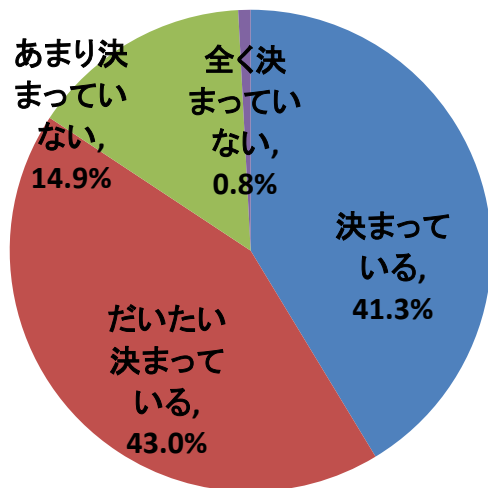


【正社員になりたい理由】

- ① 正社員にならないと生活が安定しないから：**67.5%**
- ② 自分の夢を実現するために必要なことだから：**29.9%**
- ③ 安定した収入がないと結婚も考えられないから：**27.4%**

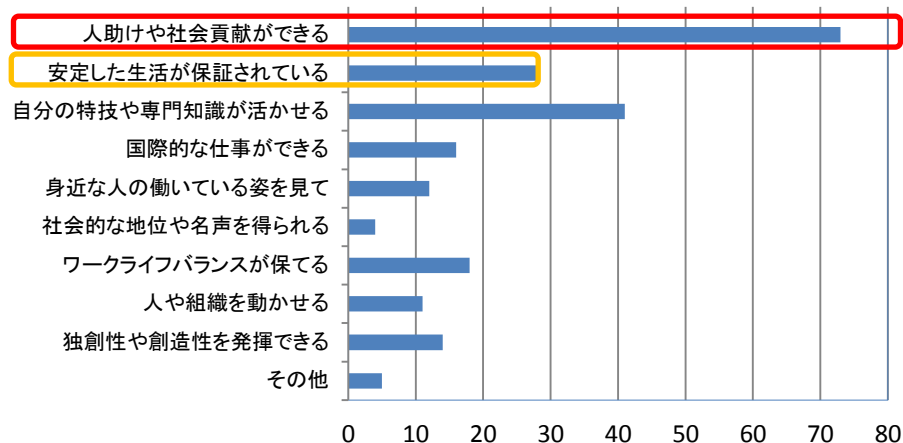
希望する就職先の業界・職種の決定状況と選択基準

希望業界・職種の決定状況



- ✓ 「決まっている:41.3%」
 - ✓ 「だいたい決まっている:43.0%」
- ⇒決まっている学生が**84.3%**

希望業界・職種の選択基準

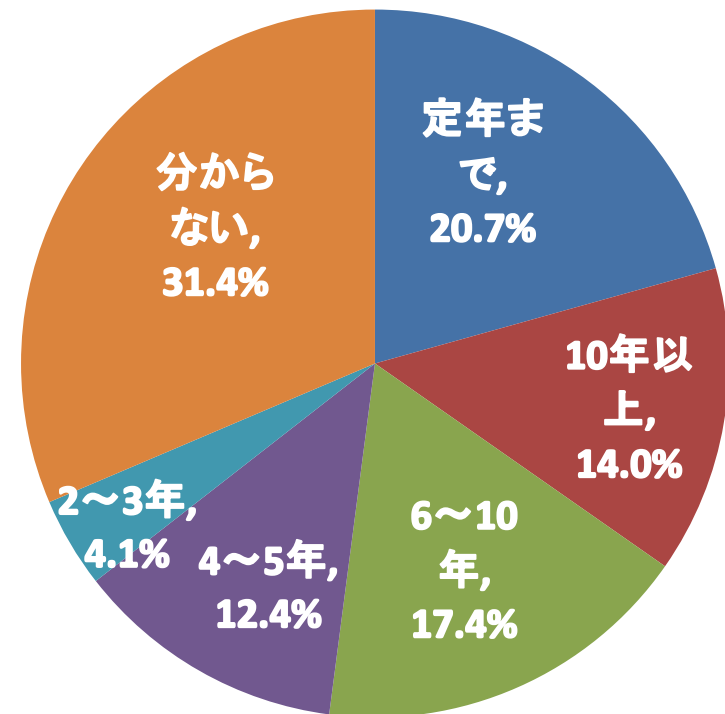


- ✓ 「人助けや社会貢献ができる」が**71.6%**と非常に多い
- ✓ 「安定した生活が保証されている」は**27.5%**

就職先での希望勤続年数

- 最初の就職先で勤めようと考えている年数
 - ✓ 「定年まで」は20.7%に留まる
 - ✓ 「5年以下」は16.5%
 - 「正社員になりたい」
 - 「生活を安定させたい」
- しかし、必ずしも**終身雇用**を求めているとは限らない

最初の勤め先で
勤務を考えている年数



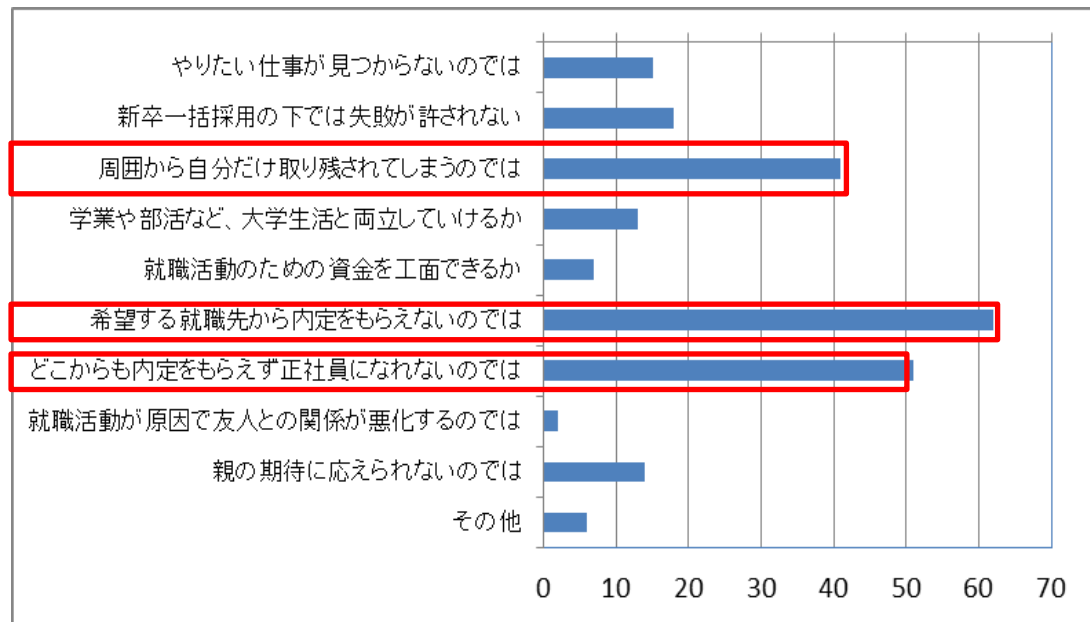
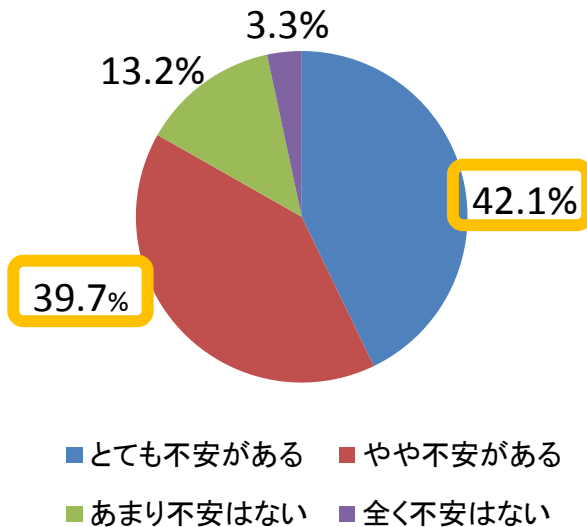
3.調査結果

②就職活動に対する不安

就職活動の不安

就職活動に対して不安を抱いている学生:83.2%

就職活動に関する不安



就活生をとりまく環境1：保護者

保護者からの期待や希望を感じている学生：69.2%

保護者からの期待や希望を感じる学生の方が、
「大企業・正社員」志向が強く、就職活動を進める上での不安感も強い

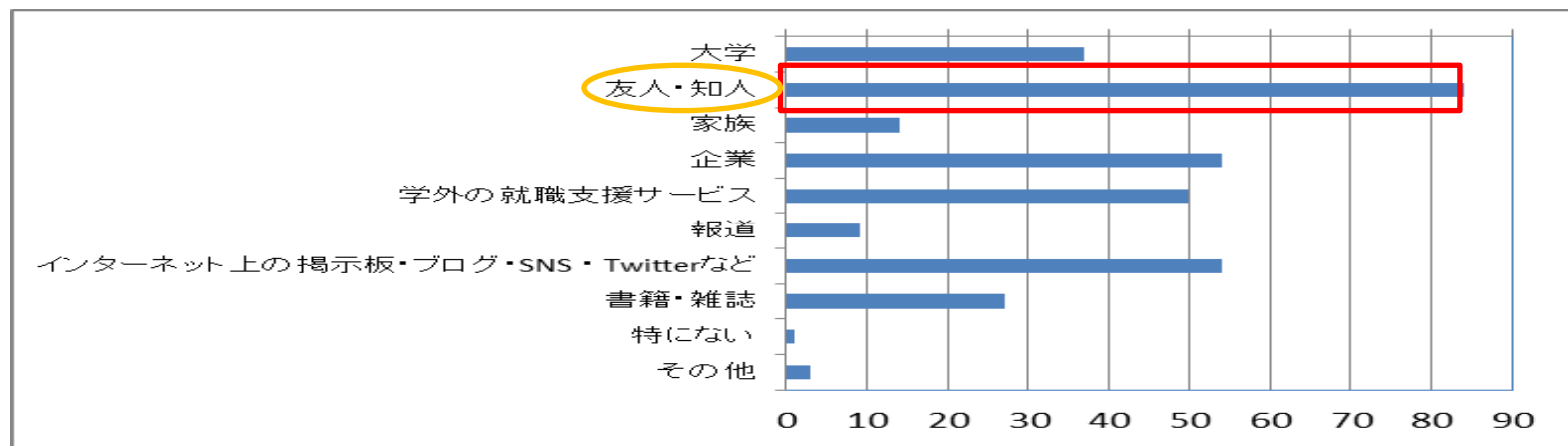
「11-1) 就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」と「7-1) 就職活動を進めるうえで不安はありますか。」のクロス表

			「7-1) 就職活動を進めるうえで不安はありますか。」				合計
			とても不安がある	やや不安がある	あまり不安はない	全く不安はない	
「11-1) 就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」	「とても感じる」	度数	14	9	3	0	26
		期待度数	11.1	10.5	3.5	.9	26.0
		%	53.8%	34.6%	11.5%	.0%	100.0%
	「やや感じる」+「あまり感じない」+「全く感じない」	度数	37	39	13	4	93
		期待度数	39.9	37.5	12.5	3.1	93.0
		%	39.8%	41.9%	14.0%	4.3%	100.0%
合計		度数	51	48	16	4	119
		期待度数	51.0	48.0	16.0	4.0	119.0
		%	42.9%	40.3%	13.4%	3.4%	100.0%

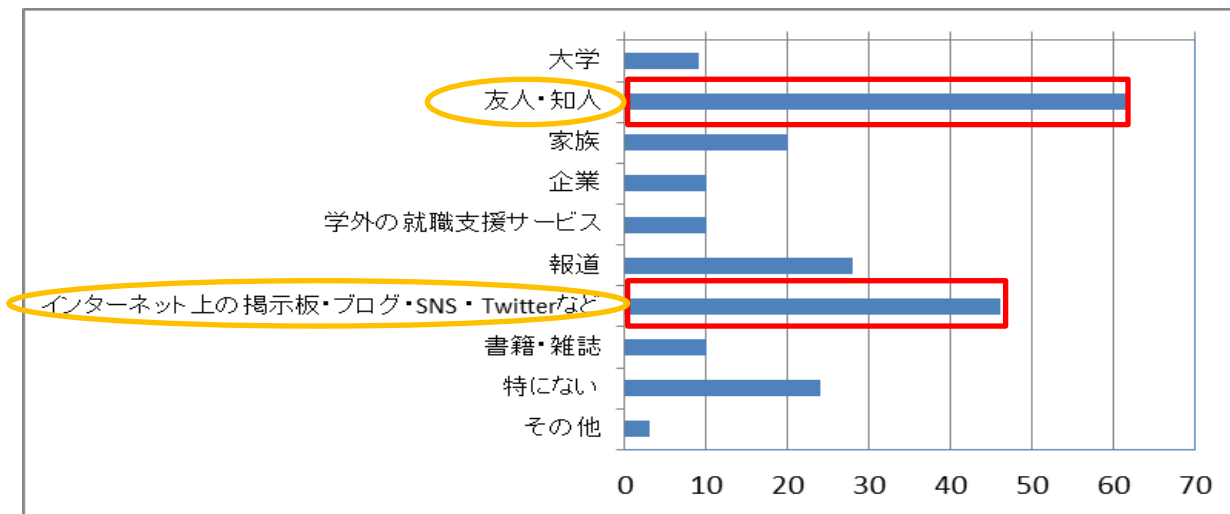
就活生をとりまく環境2: 知人・友人

知人や友人との関係に、心理的な安定／不安定が大きく依存

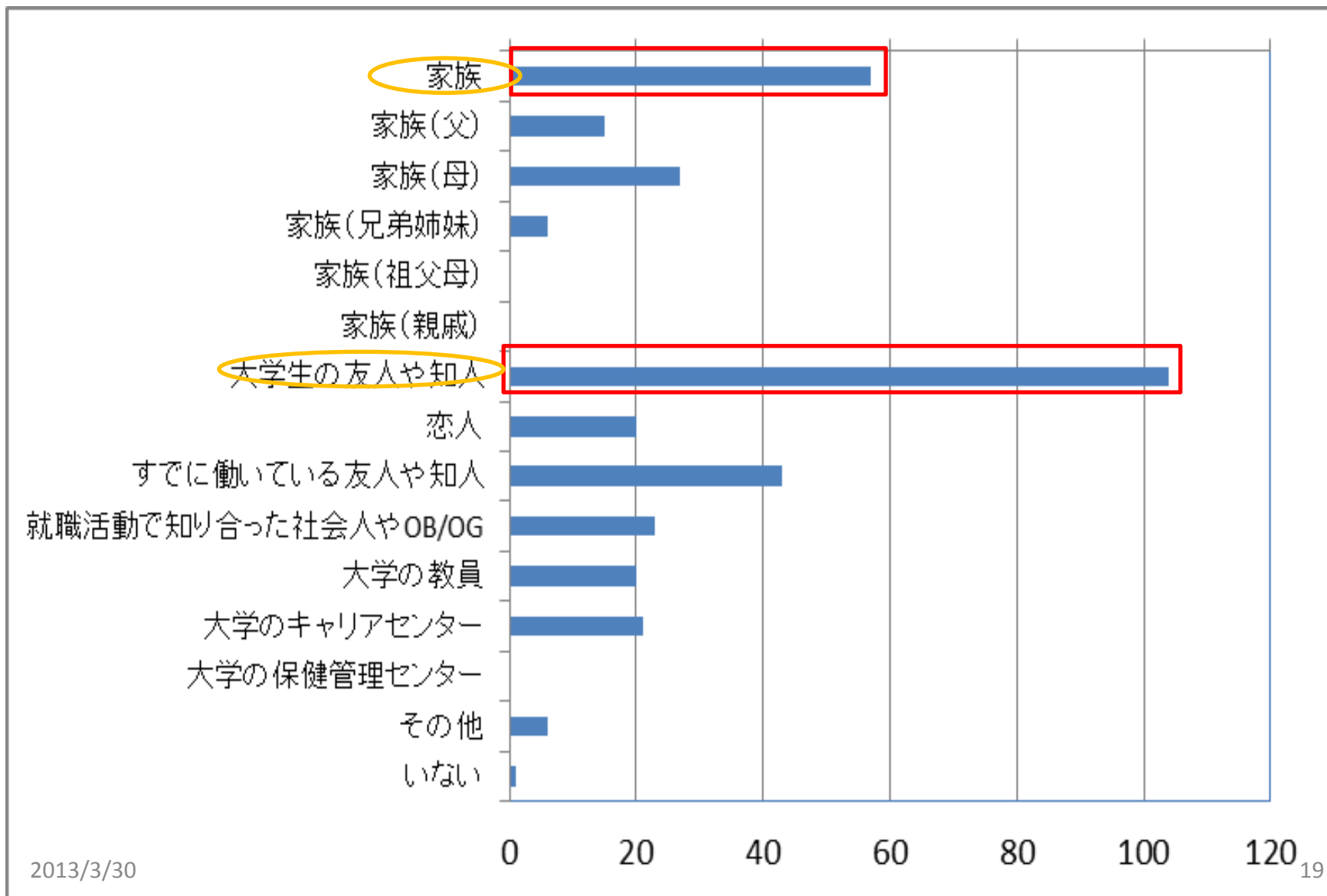
【役に立っている情報源】



【プレッシャーになっている情報源】



就職活動のことで相談できる相手

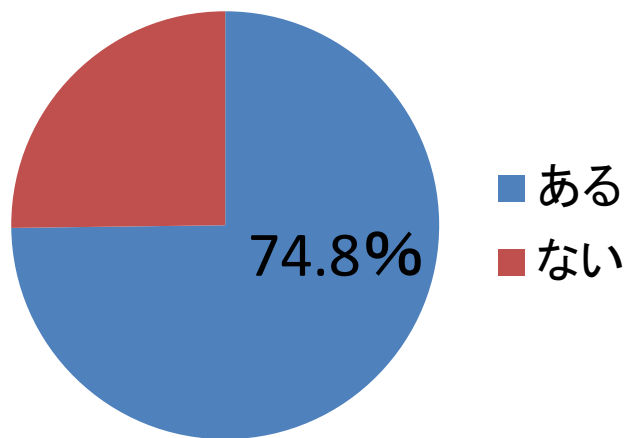


3.調査結果

③就職活動に関する諸問題

就職活動について、納得できないことや不満に
思うことがある学生：**74.8%**

不満や納得できないこと



- ①選考過程が不透明
- ②不安を煽る情報が多い

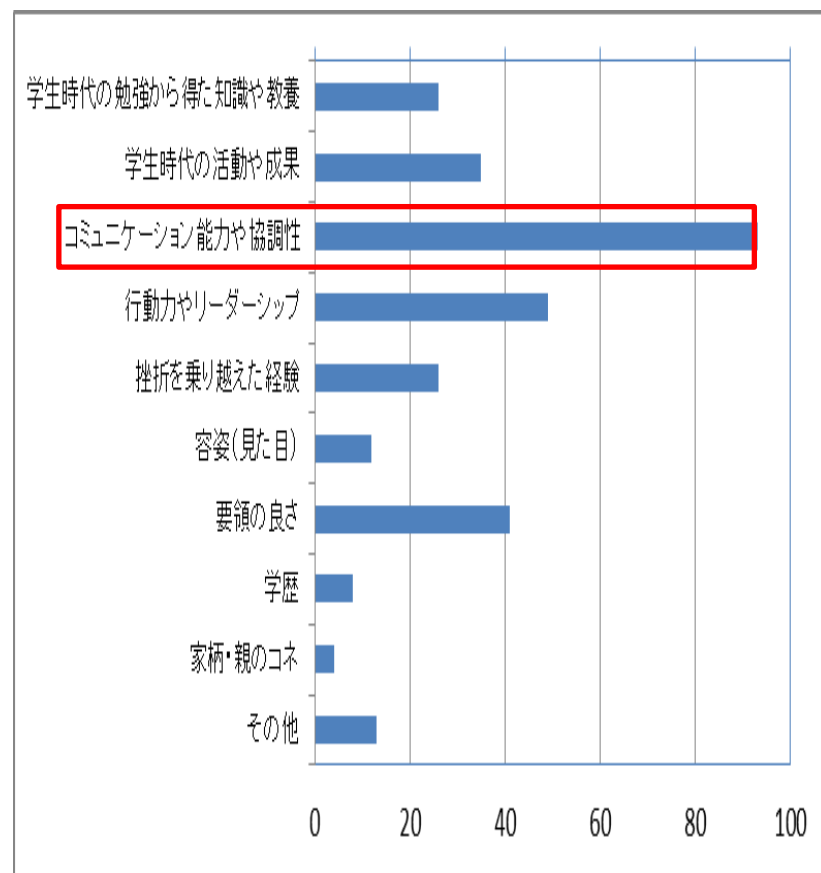
①選考過程が不透明

【不透明な選考過程】

- ・「公式なルール」(倫理憲章)に反する選考開始時期
- ・お祈りメール
- ・合格者にしか連絡がこない
- ・サイレントお祈り
- ・リクルーター制度
(公式な選考プロセスとしてHP等に掲載されていないにもかかわらず、「会社のことをもっと知ってほしい」と電話があり、選考かどうかは分からないまま面談)
- ・学歴差別が未だにある
(学歴フィルター: 大学毎に、表示される説明会の空席状況が異なる)

【不透明な選考基準】

内定を得るために何が必要だと考えるか



各位

ご清栄のことと存じます。
この度は日経BP社の2014年新入社員採用の募集にあたり、
エントリーシートを登録いただき、誠にありがとうございました。
ました。

選考を重ねた末、残念ながらご期待に添えない結果になりましたことをご連絡いたします。

今回、弊社の予想をはるかに上回る多くの方にご応募をいただいたため、担当者一同、大変、苦慮した結果であることをお伝えします。
今後の就職活動のご成功をお祈りいたしております。

* 本メールに返信していただいても受け取れませんので
ご注意ください。

〇〇〇〇社
人事室

〇〇さま

このたびは、弊社の【営業職】にエントリーいただきありがとうございました。
ました。

さて、慎重に検討いたしましたところ、誠に残念ではございますが、ご
希望に添いかねる結果となりました。

せっかくのご熱意にお応えできず恐縮ですが、ご了承下さいますよう
お願い申し上げます。

尚、書類選考の結果理由につきましては、いかなる場合もお答えでき
ませんので、ご了承下さい。

〇〇様の就職活動の成功、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

株式会社〇〇

2013/3/30

〇〇〇〇様

こんにちは。
〇〇採用担当の〇〇です。

この度は、株式会社〇〇【チャレンジ採用】二次選考にご参加いただきまし
て、
ありがとうございます。

慎重に選考させて頂きましたが、
残念ながらご期待に添えない結果となりましたことをご連絡いたします。

お忙しい所エントリーシートから二次選考まで真剣に取り組んでいただき
ありがとうございました。
この度は〇〇グループにご興味をお持ちいただきましたことを、
心より感謝申し上げます。

気候の変化が大きく体調をくずしやすい季節でもありますので、
何卒ご自愛くださいませ。

〇〇様の今後のご健闘を心よりお祈りしております。

なお、選考結果に関するお問合せには、一切お答えできませんので
何卒ご了承下さい。

お問合せ等がございましたら、下記電話番号またはメールアドレスまでご連
絡ください。

=====
株式会社〇〇
人事部 採用グループ
採用担当 〇〇
=====

②不安を煽る情報が多い

- ▼就職ビジネスが多すぎる
- ▼就職支援サイトのあおり
- ▼マスメディアが就職の状況について過剰に報道する
- ▼ツイッター上でやたら就活のことをつぶやく学生がいて不快

→ ・就活のための大学生活になってしまっている。
・セミナー、合同説明会に行きすぎて体を壊してしまった。
・学内の企業説明会など周りの雰囲気へのまれ、
気持ち悪くなってしまった。

→真面目な学生ほど追いつめられる現状を見て取れる。

3.調査結果

④社会に対する考え方

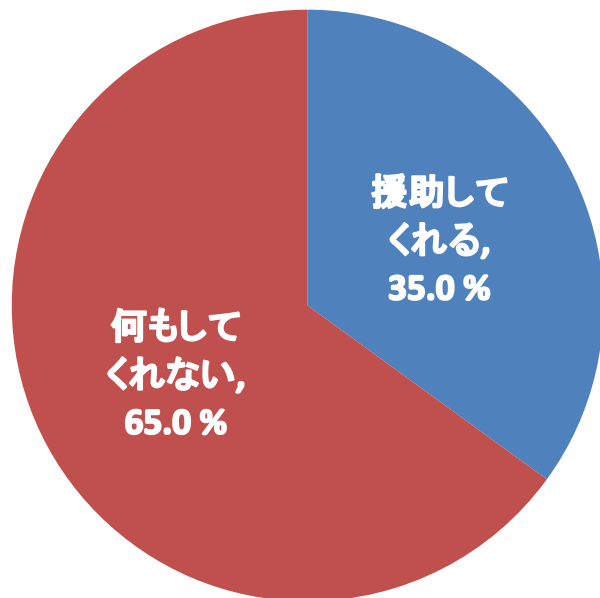
就活生の意識や実態

- 日本社会に対する強い不信感

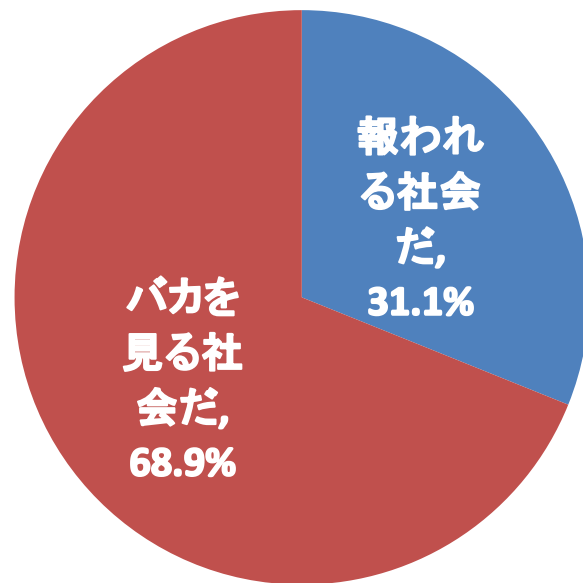
✓いざという時に「援助してくれる:35.0%」 VS 「何もしてくれない:65.0%」

✓正直者が「報われる社会だ:31.1%」 VS 「バカを見る社会だ:68.9%」

いざという時に



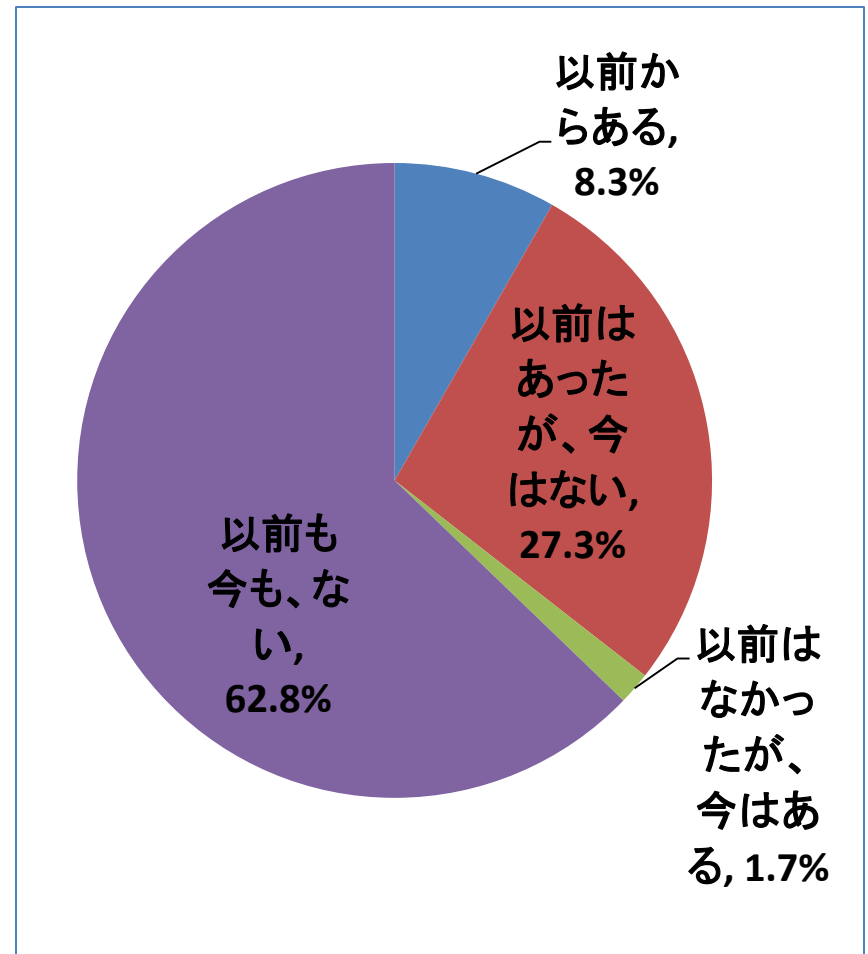
正直者が



就活生の希死念慮

- 就活前または現在、本気で死にたい・消えたいと考えている学生: 全体の**1割**
- 「以前はあったが今はない」という学生も**27.3%**

⇒1度でも希死念慮を抱いたことのある学生は**37.2%**



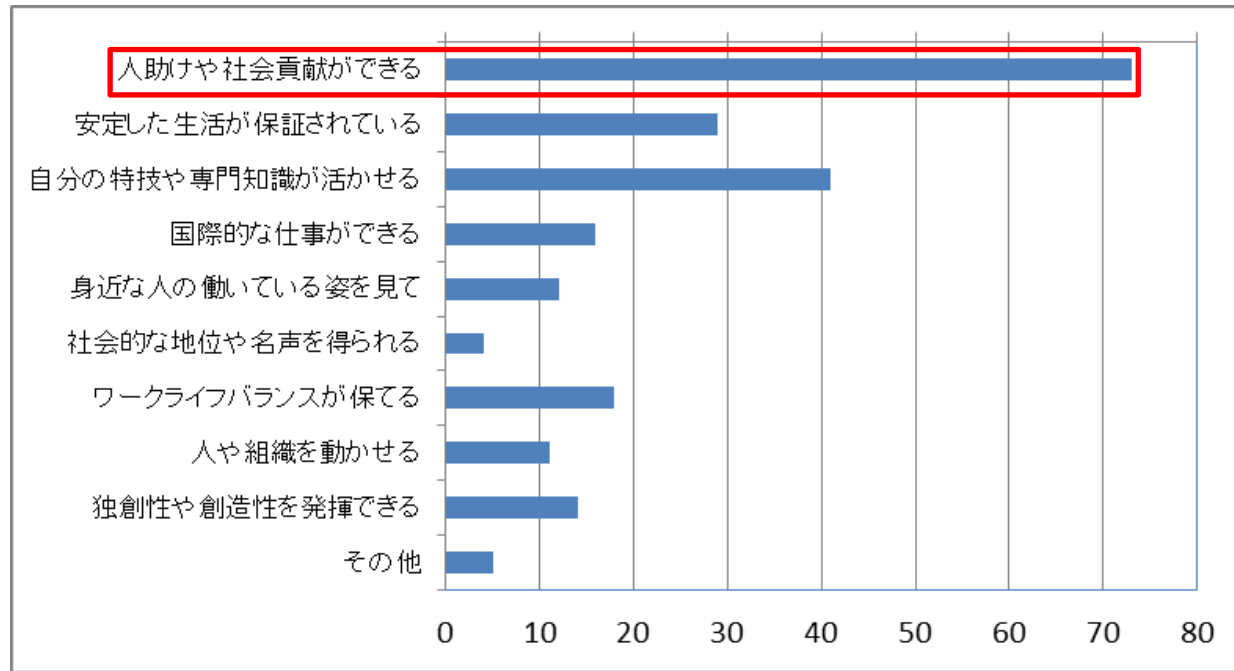
希死念慮と就活への不安感の関係

現在、希死念慮を抱えている学生のほうが、そうではない学生よりも、就職活動を進める上で不安を感じている

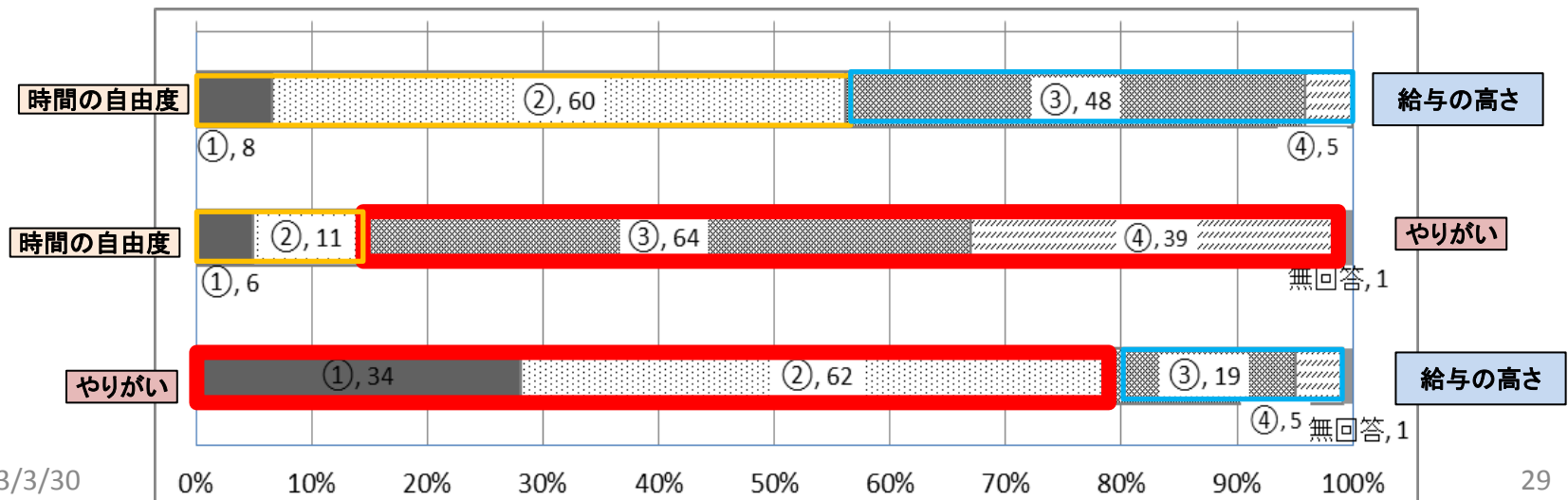
「37)あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」と「7-1)就職活動を進めるうえで不安はありますか。」のクロス表

		「7-1)就職活動を進めるうえで不安はありますか。」				合計
		とても不安がある	やや不安がある	あまり不安はない	全く不安はない	
「37)あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」	「以前からある」+	度数 9	3	0	0	12
	「以前はなかったが、今はある」	期待度数 5.1	4.8	1.6	.4	12.0
	%	75.0%	25.0%	.0%	.0%	100.0%
「以前はあったが、今はない」+「以前も今も、ない」	「以前はあったが、今はない」	度数 42	45	16	4	107
	+「以前も今も、ない」	期待度数 45.9	43.2	14.4	3.6	107.0
	%	39.3%	42.1%	15.0%	3.7%	100.0%
合計	度数	51	48	16	4	119
	期待度数	51.0	48.0	16.0	4.0	119.0
2013/3/30	%	42.9%	40.3%	13.4%	3.4%	100.0%

希望職種や業種を決めた理由:「人助けや社会貢献ができる」最も多く**71.6%**



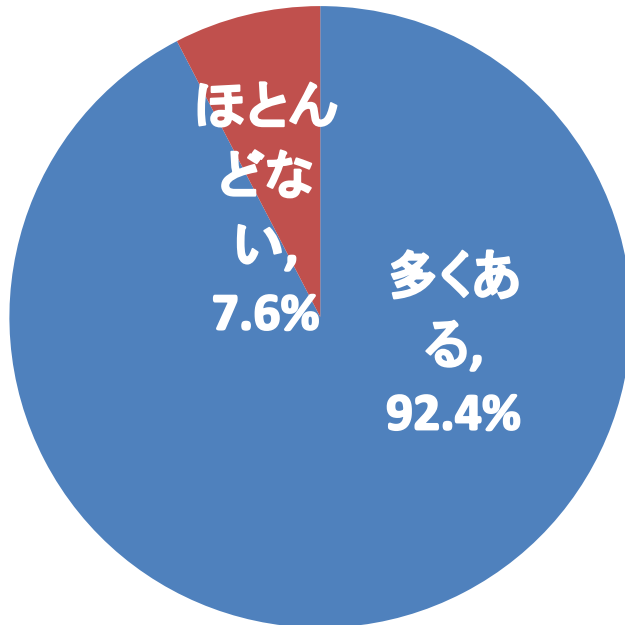
仕事に就くうえで優先させたいもの:「やりがい」を挙げる学生が多い。



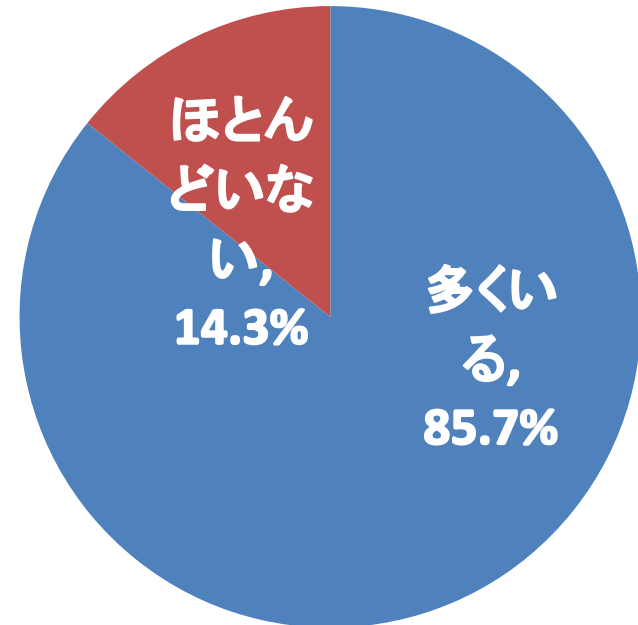
人々に対する高い信頼

- 素晴らしい人・志の高い人:「多くいる」が**85.7%**
- 世界に誇るべき要素:「多くある」が**92.4%**
⇒多くの学生が、高い信頼感を持っている

世界に誇るべき要素が



素晴らしい人・志の高い人が



社会人の些細な一言に 一喜一憂する学生

【認められたという自信】

【新たな出会いや刺激に対する喜び】

▼選考時の面接で私のことを就活生の一人ではなく、個人として見てくれていることが感じられた。

▼自分の考えに賛同してもらった。

▼社会人や他大学の学生との出会い。

▼人事の方がどの職種に応募するかという悩みについて、説明会后に1時間程かけて相談に乗って下さいました。応募者も求人も少ない職への志望でしたが、一歩踏み出すことができました。

▼はじめて最終にいった企業での不採用(ポジティブな不採用)。本当の私の幸せについて一緒に考えてくれた。今後の就活についても考えて意見をくれた。

▼説明会のスピーチに感動して、働くことの意味を見つけることができた。

▼最終面接で面接官の言葉に感動し泣いた。

【自信喪失】

▼自己分析セミナーで、個人面接をしてもらい、ボランティアや社会貢献が好きなことを自己満足で自己中だと言われ、自分の人生の核を見失った。

▼面接試験で不合格通知がきたときに「人間否定」されているように感じた。

▼大学のキャリアセンターの職員の態度が悪かった。

▼リクルーターから厳しい指摘をされた。

▼某企業から圧迫面接を受けたこと。トラウマ。

▼面接を予約していたにも拘らず、企業側の手違いで登録されていなかった。そのため、集団面接開始して5分経過した後に、部屋に入らされ、面接官は僕が遅刻してきたものだと思い、全く質問をふられなかった。

4. おわりに

就職活動は社会に出る最初の一步。

その一步を踏み出したとき、学生がどんな大人と出会うのか、どんな経験をするのか。

その違いによって、学生の自殺のリスクが高まることも、逆に、学生の社会への希望が育まれることもある。

就職活動によって試されているのは、学生だけでなく、社会(大人たち)でもある。